

11月号(69-11) 著者プロフィール

1. 生年月日
2. 出身地
3. 出身高校
4. 出身大学
5. 研究テーマ
6. 最近思うこと
7. 信条
8. 最近、感銘を受けた1冊
9. 趣味
10. ごひいきの球団, チーム, 番組
11. ホームページ

●解説：分子の形を電子物性に活かす



若宮 淳志 (わかみや あつし)

京都大学化学研究所准教授

1. 1974年
 2. 三重県
 3. 三重県立宇治山田高校
 4. 2003年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了
 5. 新奇 π 電子系化合物の設計を基軸とする構造有機化学および機能ホウ素化学
 9. 魚釣り, ゴルフ
-



西村 秀隆 (にしむら ひでたか)

京都大学大学院工学研究科博士後期課程2回生

1. 1988年12月25日
 2. 京都府宇治市
 3. 洛南高等学校
 4. 2013年京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻修士課程修了
 5. 準平面型骨格をもつ新規有機エレクトロニクス材料の開発
 7. 何事も為せば成る
 9. サイクリング, ラーメン屋巡り
 11. <http://www.scl.kyoto-u.ac.jp/~kouzou/index.html>
-



村田 靖次郎 (むらた やすじろう)

京都大学化学研究所教授

1. 1970年8月6日
2. 石川県金沢市
3. 石川県立金沢泉丘高等学校
4. 1998年京都大学大学院工学研究科エネルギー化学専攻博士後期課程修了

5. 構造有機化学, 機能性材料化学, フラーレン化学
6. 他の人が思いつかないようなコンセプトを提案出来る研究をしたい.
7. 高村光太郎「僕の前に道はない. 僕の後ろに道はできる.」
8. 感銘を受けた訳ではありませんが, 『火車』(宮部みゆき, 新潮文庫)は面白かったです. あと, マンガではありますが, 『風雲児たち』&『風雲児たち～幕末編～』(みなもと太郎, リイド社)は大変お勧めです.
9. 吹奏楽鑑賞, 少年野球
10. 阪神タイガース
11. <http://www.scl.kyoto-u.ac.jp/~kouzou/index.html>

●解説：被害を受けた仲間の香りを取り込んで身を守る！



杉本 貢一 (すぎもと こういち)

日本学術振興会特別研究員 (京都大学, ミシガン州立大学派遣研究員)

1. 1979年8月31日
2. 千葉県
3. 千葉県立柏高等学校
4. 2008年東京薬科大学大学院生命科学研究科博士課程修了
5. 植物の害虫に対する防衛能力とそのしくみを明らかにする
6. サマータイムは思ったよりも良い！
7. 日々勉強 (が必要)
9. 日に当たる
10. ナショナルチームの試合が熱い！

※ミシガン州立大学での連絡先は以下.

82 Middlevale Road, BLDG 1538 APT K, East Lansing, MI 48823, USA

sugimok@msu.edu



松井 健二 (まつい けんじ)

山口大学大学院医学系研究科 (農学系) 教授

1. 1961年10月6日
2. 大阪府
4. 1986年京都大学大学院農学研究科修士課程修了, 博士 (農学)
5. 植物の香りの生化学, 生態学
10. <http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~matsui/>



高林 純示 (たかばやし じゅんじ)

京大大学生態学研究センター教授

1. 1956年10月1日
2. 長野県
4. 1986年京都大学大学院農学研究科博士課程修了
5. 揮発性物質が駆動する植物-植食者-捕食者三者相互作用・情報ネットワークおよび植物間コミュニケーションの化学生態学的, 行動生態学的解析
8. 森見登美彦『夜は短し歩けよ乙女』角川書店
9. 読書, 空手, 碁 (もっばら鑑賞), 居酒屋めぐり
10. 阪神タイガース
11. <http://www.ecology.kyoto-u.ac.jp/~junji/index.htm>

●解説：“Simple and Strong” ジアリアルポリニウムイオンの開発



庄子 良晃 (しょうじ よしあき)

東京工業大学資源化学研究所助教

1. 1980年
2. 宮城県
4. 2008年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了, 博士 (工学)
5. 典型元素化合物の構造・物性・反応化学, π 電子系化合物の分子集合体化学



田中 直樹 (たなか なおき)

東京工業大学大学院総合理工学研究科修士課程2年

1. 1991年2月
 2. 福岡県
 3. 埼玉県立所沢高等学校
 4. 2013年北里大学卒業
 5. ホウ素からなる超ルイス酸分子の開発
 9. スポーツ観戦
-



福島 孝典（ふくしま たかのり）

東京工業大学資源化学研究所教授

1. 1969年
2. 栃木県
3. 栃木県立宇都宮東高校
4. 1996年東北大学大学院理学研究科博士後期課程中退，博士（理学）
5. 有機機能物質科学，分子集合体の化学， π 電子系化学

●提言：化学研究室の安全教育と事故対策



木村 修（きむら おさむ）

（一社）近畿化学協会 化学技術アドバイザー，木村修事務所代表

1. 1941年
2. 山形県
3. 埼玉県立不動岡高等学校
4. 1966年東京大学理学系大学院化学修士課程修了
5. 倫理と安全
6. 科学の最先端を担う科学者は楽しく研究をして頂きたい。
7. 楽天的であること
8. 大下英治『津波救国——〈稲むらの火〉浜口梧陵伝』講談社
9. 古代史，旅行
10. （今さらやめられない）阪神タイガース，浦和レッズ

●カガクへの視点



山本 昭夫（やまもと あきお）

NPO話し方ネットワーク理事長，（株）話し方研究所主任教授

4. 1967 年電気通信大学卒業
5. 学生・社会人支援（就活・コミュニケーション力）
※コミュニケーション力：会話，スピーチ，説明，プレゼン，交渉など
9. 家庭菜園

●連載・My Favorite Research：化学者の眼でダイヤモンドを見直す



大澤 映二（おおさわ えいじ）

株式会社ナノ炭素研究所 代表取締役

1. 1935年6月9日
2. 大阪府
3. 大阪府立豊中高校
4. 1960年京都大学大学院工学研究科博士前期課程修了．1966年工学博士（論文）．
5. ナノダイヤモンドの開発研究， C_{60} の生成機構
7. 最後の日まで研究を止めない
8. Etsu Inagaki Sugimoto, "A Daughter of the Samurai," University Press of the Pacific
9. 形の科学
10. 楽天イーグルス，柏ソレイユ
11. <http://nano-carbon.jp>